◆実践問題44◆

ある君達に忍びて通ふ人やありけむ、いとうつくしき児さへ出で来にければ、あはれとは思ひ聞こえながら、きびしき片つ方やありけむ、絶え間がちにてあるほどに、思ひも忘れず、いみじう慕ふがうつくしう、時々は、ある所に渡しなどするをも、「いま」なども言はでありしを、ほど経て立ち寄りたりしかば、いとさびしげにて、めづらしくや思ひけむ、かきなでつつ見ゐたりしを、え立ちどまらぬことありて出づるを、ならひにければ、例のいたう慕ふがあはれにおぼえて、しばし立ちどまりて、「さらば、いざよ」とて、かき抱きて出でけるを、いと心苦しげに見送りて、前なる火取りを手まさぐりにして、

こだにかくあくがれ出でば薫物の
ひとりやいとど思ひこがれむ

と忍びやかに言ふを、屏風のうしろにて聞きて、いみじうあはれに覚えければ、児もかへして、そのままになむゐられにし。

1回目 ／
2回目 ／
3回目 ／
4回目 ／
5回目 ／